

●●● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

(ご注意)

株主名簿管理人の「取次所」の定めについて
株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は株券電子化の実施時をもって廃止いたします。
なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

■ 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。
なお、株券電子化実施後は特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
公告の方法 電子公告の方法により行います。

公告掲載URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>
不測の事態により電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 市場第2部

単元未満株式の買取請求お取扱いのご案内

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の株主の方で、買取請求(売却)をご希望の場合は、三菱UFJ信託銀行本店・全国各支店にてお取扱いをいたします。なお、証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、お取引の証券会社にお申し出ください。

■この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。

株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



第149期

中間報告書 H20.4.1~H20.9.30

株主のみなさまへ

「やすらぎと安心の創造」で築き上げた信頼 これからも選ばれるノザワブランドであるために—

不燃建材のリーディングカンパニーとして歩んできたノザワは、
建築・住宅・土木の3市場にその地位を確立し、
革新的な商品を提供し続けてきました。
業界を取り巻く状況は、今までにない大きな変化を見せていますが、
「やすらぎと安心の創造」をモットーに、
どんなときも「選ばれる商品」を提供してまいります。

建築向け商品

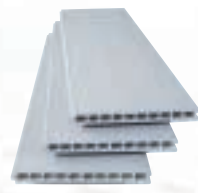
「アスロック」は、軽量・高強度で、耐火性はもちろん、耐候性、遮音性、耐震性に優れた建築用部材です。また、表面に様々な加工を施すこともできるので、意匠性においても表現の幅が広がります。1970年に当社が生産・販売を開始して以来、すでに40年近くの実績があります。日経BP社発行の建築総合情報誌「日経アーキテクチュア」9月号において、3年連続「押出成形セメント板」の採用したいメーカー1位に選ばれ、品質・デザイン・コスト・サポート面などで高評価を得ています。また、近年は、国内のみならず、中国・台湾・韓国などのアジア諸国での採用実績も増えつつあります。



タイルパネル



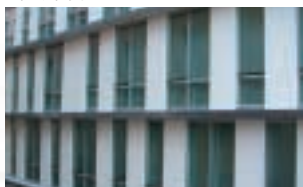
レフ・フラップ5 製作コーナー



アスロック



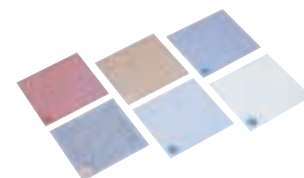
宇多津中学校



三光ビル

住宅向け商品

「軽量外壁材」は、押出成形技術の特性を活かし、耐火性、耐震性、強度を高いレベルで実現した、鉄骨戸建住宅の外壁材として多数の実績を誇る、施工性と加工性に富む住宅用部材です。また、表面に複雑な意匠を表現できるため、個性的な外壁デザインにも対応可能です。抄造方式で造られる不燃ボードは、内装・外装・化粧用基材等それぞれの目的に合った商品を取り揃えています。



ボードの商品群



住宅用軽量外壁材



住宅用軽量外壁材

土木向け商品

「NLBパネル」は、軟弱地盤対策、地すべり対策などに用いられる「軽量盛土工法」のための化粧・保護材専用パネルです。軽量で強度が高いうえに、すっきりとした道路景観を実現します。また、鉄道などの遮音壁専用パネル「アスロック遮音壁」としてもご使用いただけます。

「トンネル内装パネル」は、繊維強化セメント板の表面に照明反射率の高いタイルを貼りつけており、可能な限り「薄・軽・強」を追求しています。



バイタレックスII



タイルボードII



NLBパネル



アスロック遮音壁

その他の主要商品

外断熱システム

新築および既存の鉄筋コンクリート建物の外壁外側に仕上材と断熱材を設置する工法です。これにより、コンクリート躯体を激しい熱変化から長期間保護し、劣化を抑えることができます。特に冬期は、結露発生防止や躯体の保護および蓄熱に有効です。ボードを用いた低価格の「ハイパート外断熱システム」と押出成形セメント板を用いた「アスロック外断熱システム」の2つをラインアップしています。



ハイパート外断熱工法

内装仕上材

日本の伝統的な仕上げ材料である漆喰に、ノザワが独自開発したマインシリカ（ナノサイズの細孔を多数包含した繊維状形態の素材）を配合した「ふらの調湿しゅくい」は、安全性はもちろん、吸放湿性や脱臭性にも優れており、16色のカラーパリエーションと多彩なデザインを展開しています。



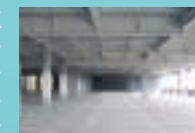
くし引きパターン



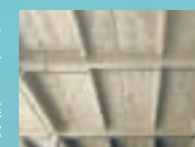
松葉模様

耐火被覆材

耐火被覆材は、安価で施工性の良い、吹付けロックウールの半乾式工法である「コーベックス」、施工中の粉じん発生を減少したロックウール耐火被覆材を巻き付ける「ファイブル」、けい酸カルシウム板を貼り付ける「コーベライト」、水性塗料を塗り付ける「ファイレス」などがあり、施工条件や建物用途に合わせた展開が可能です。



吹付けロックウール「コーベックス」



耐火被覆材「ファイブル」



代表取締役社長 野澤 俊也

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第149期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

平成20年12月

■当第2四半期連結累計期間の取組みと成果

【各部門が奮闘すれど減収減益避けられず】

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、原油・原材料価格の高騰などが企業収益を圧迫し、さらに9月からは米国の金融不安による影響、為替・株式市場の変動が本格化しています。建築材料業界でも、改正建築基準法の施行による建築確認申請手続きの混乱・停滞は解消しつつあるものの、企業収益の減少に伴う設備投資の減少や競争激化など、依然として厳しい経営環境が続いております。

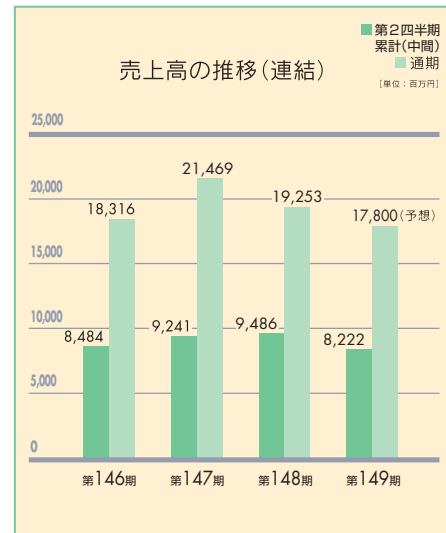
このような状況のもと、当社グループでは既存商品の販売拡大と商品群の充実を図るため、開発部門において低汚染型工場焼付塗装パネル「カラーフロンメタリックバリュー」、素地仕上げ材の表面に吸水防止処理を施した「アスロックナチュラル+」を開発し、4月より発

売をスタート。さらに、軽量性・加工性を向上させた間仕切「Non Stud Panel」を開発し、5月よりPRを開始しました。また、中国・台湾・韓国における押出成形セメント板「アスロック」の市場開拓を積極的に行い、海外市場への展開にも鋭意取り組みました。

生産部門では、7月からエンジニアリング部を埼玉・播州工場の2拠点とすることにより、生産設備の内製化を一層推進しました。販売部門では、デリバリー業務を一元化して効率化を図るために8月よりデリバリーセンターを設置、9月には3営業所を閉鎖して営業人員の集中化を図り、業務効率向上と体制強化に注力しました。管理部門でもデリバリー業務のシステム面での改善、関係会社の業務システム構築によるコスト削減に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、82億22百万円（前年同期比13.3%減少）となりました。品種別の売上高につきましては、住宅用軽量外壁材は7億97百万円（前年同期比5.0%増加）と堅調に推移しましたが、主力の押出成形セメント板「アスロック」は41億72百万円（前年同期比4.3%減少）、スレート関連は6億40百万円（前年同期比30.3%減少）と減少。アスベスト除去工事におきましては、市場規模の縮小と競争激化の影響により売上高は5億94百万円と前年同期比60.3%の減少となりました。

利益面につきましては、生産部門での需要動向に応じた人員の適正配置による生産効率の向上や諸経費の抑制等コストダウンに努めましたが、アスベスト除去工事の大幅な減少と原油・原材料価格の高騰から、営業損失68百万円（前年同期比3億75百万円減少）、経常損失33百万円（前年同期比2億85百万円減少）、四半期純損失88百万円（前年同期比2億32百万円減少）となりました。



■通期の見通し

【建材・環境対策・海外展開で苦境打破へ】

今後のわが国経済の見通しにつきましては、世界経済の減速傾向、為替・株式市場の不安定な動向、原油・原材料価格が依然として高水準に留まるものと推測されます。これにより、個人消費意欲の減退や企業収益の悪化が懸念され、不透明感はさらに強まるとの予測が一般的です。建築材料業界におきましても、設備投資の停滞、競争激化による市場の低迷など、厳しい状況で推移するものと思われま

す。このような状況のもと、当社グループは「建材事業の拡大」・「環境対策事業の拡大」・「海外への事業展開の拡大」に取組んでまいり所存です。

建材事業につきましては、8月に押出成形セメント板を用いた高層建設向け専用外壁材を設計し、外部の建設足場を必要としない高層標準工法「新押出成形セメント板 外壁等圧目地無足場工法」（平成21年4月商品化発表および営業開始予定）を開発。建築・住宅・土木市場での顧客ニーズを先取りした新用途・新工法開発により、事業拡大につなげてまいります。

環境対策事業につきましては、アスベスト除去・スレートリフレッシュ工事・ハイパート外断熱工事などの環境対策工事の市場拡大を図るとともに、石綿無害化技術の確立、改質素材の用途開発、撤去・改修工事システムの確立により、非飛散型石綿含有建材の撤去から再利用までを一貫して行う事業の実現に向けて邁進いたします。

海外市場につきましては、中国・台湾・韓国市場に対して、各国の状況に適合した商品・工法を開発することにより、販売拡大を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成20年9月30日現在	前連結会計年度末 平成20年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	6,368,281	6,059,649
現金及び預金	1,335,658	1,230,184
受取手形及び売掛金	3,606,763	3,330,570
たな卸資産	887,488	766,503
その他	572,004	735,385
貸倒引当金	△ 33,634	△ 2,994
固定資産	14,601,629	14,874,706
有形固定資産	11,800,654	11,988,995
建物及び構築物	2,907,800	2,978,146
機械装置及び運搬具	1,400,743	1,508,881
土地	7,284,080	7,284,080
その他	208,029	217,887
無形固定資産	26,966	32,130
投資その他の資産	2,774,008	2,853,579
投資有価証券	1,822,807	1,850,740
その他	970,759	1,034,411
貸倒引当金	△ 19,558	△ 31,572
繰延資産	1,388	1,562
資産合計	20,971,299	20,935,918

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成20年9月30日現在	前連結会計年度末 平成20年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	5,622,549	5,707,013
支払手形及び買掛金	2,673,654	2,715,855
短期借入金	1,632,000	1,444,500
賞与引当金	205,700	248,800
その他	1,111,194	1,297,857
固定負債	7,458,497	7,160,740
社債	93,000	171,000
長期借入金	3,631,500	3,273,000
再評価に係る繰延税金負債	2,278,410	2,278,410
退職給付引当金	950,532	940,671
その他	505,054	497,659
負債合計	13,081,046	12,867,753
■ 純資産の部		
株主資本	4,556,072	4,715,083
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	682,115	840,520
自己株式	△ 45,615	△ 45,009
評価・換算差額等	3,334,179	3,353,080
その他有価証券評価差額金	194,342	213,243
土地再評価差額金	3,139,837	3,139,837
純資産合計	7,890,252	8,068,164
負債純資産合計	20,971,299	20,935,918

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

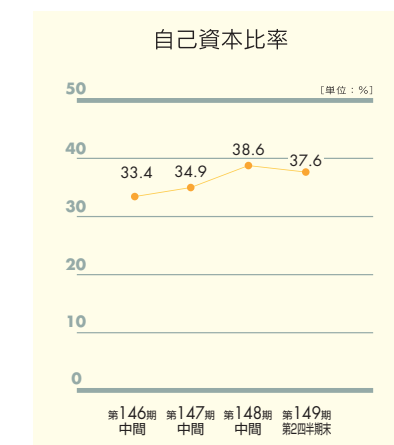
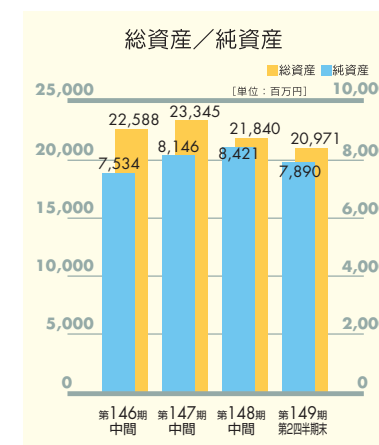
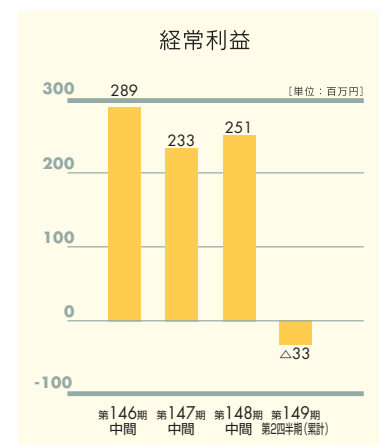
科目	当第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	8,222,484	9,486,473
売上原価	6,167,416	6,842,096
売上総利益	2,055,067	2,644,376
販売費及び一般管理費	2,123,736	2,337,928
営業利益又は営業損失(△)	△ 68,669	306,448
営業外収益	169,767	63,271
営業外費用	134,733	118,213
経常利益又は経常損失(△)	△ 33,635	251,506
特別利益	—	20,607
特別損失	14,135	37,659
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 47,770	234,454
法人税、住民税及び事業税	15,141	130,398
法人税等調整額	25,444	△ 39,712
法人税等合計	40,586	90,685
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 88,356	143,768

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 66,021	419,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 125,548	△ 110,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	297,043	△ 277,667
現金及び現金同等物の増減額	105,473	31,388
現金及び現金同等物の期首残高	1,230,184	905,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,335,658	936,811

■ 連結決算ハイライト



持続可能な社会づくりに貢献するノザワ

1970年に国内で初めて量産化・販売を開始した押出成形セメント板「アスロック」。
発売以来、当社は人々が快適に過ごせる空間や豊かな社会の発展に貢献してきました。

一方で、有限である地球資源を守るため、緑化や植林活動にも取り組んでいます。
これからも、人と自然との良い関係を守るため、持続可能な社会づくりに寄与してまいります。

アスロック・ナチュラルシリーズ 間仕切 「Non Stud Panel」を5月よりPR開始

アスロックの素地を生かした外壁パネル「ナチュラル」を間仕切材向けに改良し、軽量性と加工性を向上させた専用システム材が「Non Stud Panel」です。パネル基材とボード下地のスタッドを一体成形したため、スタッドレスでのボード施工ができ、工期短縮やコストダウンに貢献します。廊下側をナチュラル仕上げ、居室側を石膏ボード仕上げにすることも可能で、リブ空間には電気設備を配置できる新タイプの間仕切パネルです。



ボード側

素地側

緑化の取組みと環境問題への貢献

近年地球温暖化は、環境問題として大きくクローズアップされ、炭酸ガスの排出量削減が緊急の課題となっています。一般的に、植物は炭酸ガスを吸収することから、緑化や植林が、炭酸ガス排出問題を解決する手段のひとつとして注目されています。

当社フラノ事業所では過去20年以上にわたり、地域の環境を保全する立場から、事業活動と並行して、自社で保有する鉱山や事業場内の緑化に取組み、累計で約55万㎡の植林と緑化を行ってまいりました。今年度も、植林の継続とともに事業場内の敷地にひまわりを定植するなど、75,000㎡の緑化を実施いたしました。今後も温暖化抑制の一助として、引き続き緑化に取組み、環境保全に寄与したいと考えております。



ひまわり定植



オムロン啓真館

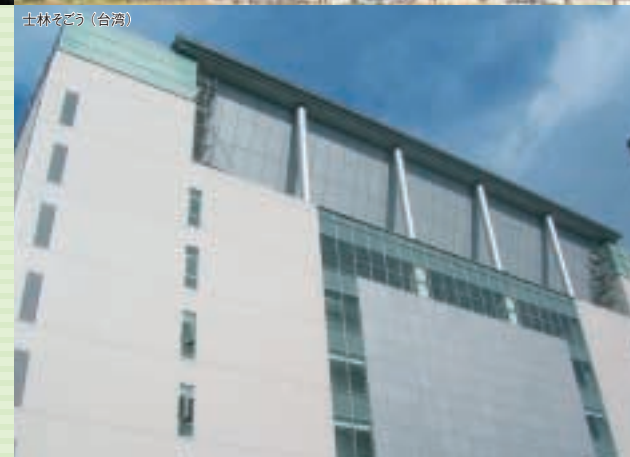


リーフみなどみらい



モード学園 スパイラルタワーズ

ノザワの主力商品「アスロック」は、日本国内のみならず、海の向こうの中国・台湾・韓国などアジア諸国においても品質の高さで好評を得ており、その出荷数は着々と増えつつあります。海外での「アスロック」は、日本とはまた違った用途で需要があり、販路展開と用途拡大のみならず、新商品の開発にも大きなチャンスになるものと期待しています。



士林高 (台湾)



MOVIC 京都



深圳建築研究院 (中国)



DAEWON 外国語高校 (韓国)



成功高校 (台湾)

社名	株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION	役員	代表取締役社長 野澤 俊也 専務取締役 佐々木 三七司 常務取締役 豊田 和冲 常務取締役 三原 伸夫 取締役 田淵 義章 取締役 山口 幸久 取締役 坂本 茂紀 常勤監査役 吉田 慎祐 監査役 大西 努 社外監査役 出島 信彦 社外監査役 堀田 昌展
創業	明治30年8月17日		
設立	大正2年9月28日		
資本金	24億4,900万円		
従業員数	352名(連結)		
子会社	株式会社ノザワ商事 株式会社ノザワトレーディング		

ネットワーク

●本社：〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 tel/078-333-4111(代)

●支店・営業所

札幌支店：札幌市中央区大通西1丁目14番2(第2有楽ビル)

北陸営業所：金沢市本町1丁目5番1号(リファール)

仙台支店：仙台市青葉区本町1丁目1番8号(第一日本オフィスビル)

関西支店：神戸市中央区浪花町15番地

東京支店：東京都中央区新川1丁目24番8号(東熱新川ビル)

広島支店：広島市中区小町3番25号(住金物産広島ビル)

静岡営業所：静岡市葵区伝馬町9番11号(原科ビル)

松山営業所：松山市大手町2丁目9番地4(石丸ビル)

名古屋支店：名古屋市中区名駅3丁目10番17号(IT名駅ビル2号館)

九州支店：福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号(JPR博多ビル)

●研究所

技術研究所：埼玉県深谷市大字折之口字稜威ヶ原1851番地4

●工場

フラノ事業所：北海道富良野市字山部1596番地4

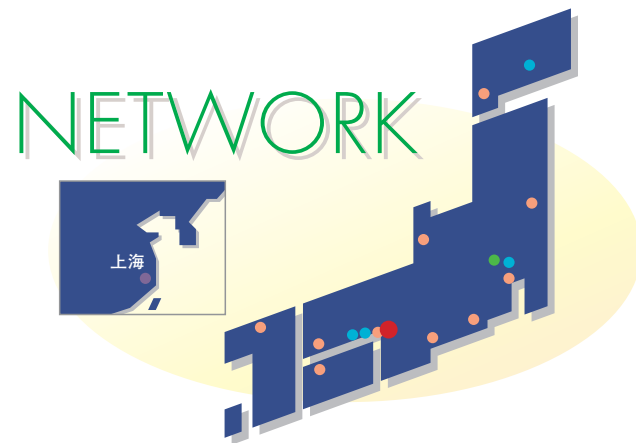
埼玉工場：埼玉県比企郡吉見町大字長谷1947番地

播州工場：兵庫県加古郡播磨町古宮

高砂工場：兵庫県高砂市高須1番1号

●海外駐在所

上海駐在所：上海市延安西路2299号 上海世貿商城 10F A55



発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,150,000株
株主数	2,515名

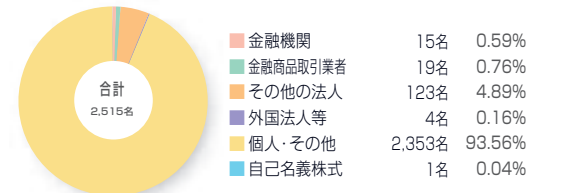
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本興亜損害保険株式会社	1,749	7.49
日本生命保険相互会社	1,744	7.47
株式会社三井住友銀行	1,153	4.94
神栄株式会社	973	4.16
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.10
CBC株式会社	603	2.58
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.47
ノザワ従業員持株会	572	2.45
日工株式会社	568	2.43
ニッセイ同和損害保険株式会社	525	2.24

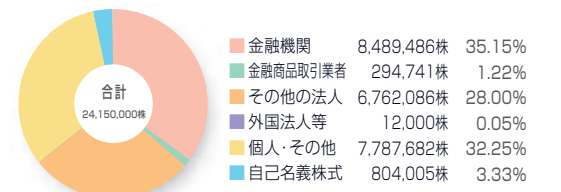
(注) 出資比率は自己株式(804,005株)を控除して計算しております。

株式分布状況

所有者別株主数



所有者別持株数



ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様へのタイムリーな情報開示に努めているのはもちろんのこと、当社への理解をさらに深めていただくための事業活動紹介や新商品情報も充実しています。また、アスベスト情報サイトでは、アスベストや除去工事について分かりやすく説明しています。是非ご覧下さい。

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>